

褒め言葉より苦言に感謝

松岡修造のことば



会長 赤川イシ子

新年おめでと
うございます。
災害に明け、災
害に暮れた平成
30年でした。大

災害続きで何時我が身に降りかかるかと思うと不安がいつぱいですが、案ずるばかりでは暗すぎます。平和な日々が、暮らしが続きますようにと願うばかりです。明るい日々とは何だろうと思うとき、達者、元気、健康であることだろうと。達者は体、元気は心、健康は心身と私なりに解釈し、この三つを維持して今年一年を過ごそうと年頭の目標にしました。欲張りですが、それには何事にも興味を持ち好奇心を失わず挑戦意欲を燃やそうと思っています。無理は毒ですが頑張りは薬です。今私にそして私達に課せられた役目は、自分みがきは勿論のこと、保存会員として郷土文化の伝承なのです。多勢の人達が振り向いてくれる魅

ご挨拶

柏崎民謡保存会会報

和と福

■第21号発行
2019・1・27
■発行責任者
赤川イシ子



力ある活動を続けて行こうではありませんか。三本の矢は折れません。一人の力は小さくても「志」をつにした会員が集えば大きな結果が生まれます。個々が健康的な活動が出来ますように、そして、明るい一年でありますように！

米山甚句・三階節唄う

民謡コンクールin柏崎

副会長 間島 正明

一昨年の秋頃から唄コンクールの話が入り、何回も会議を開き米山甚句、三階節の二曲のコンクールに



決する。場所も集客状況も考慮し、柏崎市産業文化会館に決定する。

そして募集を掛ける新潟県人会、新潟県民謡協会、柏崎の民謡団体等にポスター、申込書を配布し、ある程度の方角が見えて来たものでした。それが昨年八月下旬頃、その後プログラム作成、配布し、当日十月十四日開催となる。朝より産文三階にて音合わせをする。米山甚句二七名、三階節二二名の申込みがあり、午後一時三十分よりコンクール開始となりました。

一曲とも三味線唄の為、音合わせを尺八新保先生に教えて頂き、重圧を感じながら終わる事が出来ました。自分の三味線担当エントリー№の方が上位にいて、大変嬉しく思ったものであります。

終了四時半頃となり、大半の方から喜んで頂いたと思つて居りました。観光協会の皆様本当にお疲れ様でした。

今年の目標

江部登美子

昨年は県の民謡協会のお手伝いをさせて頂いて、県外曲が多くありました。今年は保存会の曲以外に県外曲をもっと勉強して行こうと思っています。

種橋 靖子

今年は、新しい唄を2つは覚えたいです。そして、色々な大会とかを見て勉強したいです。そして、多くの人に民謡の楽しさを伝えたいです。それが私の目標です。



福島 一利

あらたな曲を吹ける事

矢代 絹代

10月5日の「感謝の集い」を成功させること!!

坂井 文繪

学藝を以て性を養うべし

上村千代子

健康第一！

ひざ・腰 多少の痛みはあるけれど、これ以上悪くならないように一年頑張ります。



平成30年度 活動報告

- 1月 東京椿山荘での新潟県人会新年会に出演
大雪で交通事情が心配されたが、無事帰られた。
- 6月 月岡温泉華鳳での出演に、日帰りバス旅行気分
- 7月 ぎおんまつり前夜祭民謡街頭流し 小学生3人太鼓でデビュー
- 8月 市民大盆踊り(6回目) 今年は仮装大会で雰囲気も新たに、とつてもにぎやかでした。
- 10月 米山甚句、三階節コンクール産文・文化ホールで開催。柏崎の民謡の魅力を存分にアピールしました。意義あるイベントでした。

他、2月の文化協会の催し物への参加、又、老人施設への数多い出演など忙しい一年でした。

今年度の活動計画(行事)

- 7月のぎおん民謡流しへの参加
 - 8月末の駅前市民大盆踊り(第7回)
 - 10月5日、感謝の集い(第9回)2年振りの開催です
- これを3本の柱にして重ねて会員の技能向上、新入会員募集など、目に見えないところでの労力を惜しまず、活動を続けて行きたいと思つています。

編集後記

日報のような日誌のような会報になりがちですが、それも又、必要なことかも知れません。思い出と、そして迎える記憶を記してある会報ですが、「継続は力なり」を信じて発行しました。記事をお寄せ下さいました皆様方に感謝致します。

平成最後の会報になります。が、細くても長く続く「和と福」でありたいものです。

